

マツシロ株式会社

2011年度 環境活動レポート

認証・登録番号 0001034

(対象期間：2011年6月1日～2012年5月31日)



日除けのよしず



サーキュレーター

作成日：2012年7月14日

更新日：2012年9月07日

この紙は端紙を使用しています

□ごあいさつ

昨年の福島原発事故を発端とした、原子力発電の稼働中止と関西電力の大飯原発再稼働による混乱や反発のある中、今夏関西では大きな電力不足が懸念され、昨年以上に節電への取り組みが求められています。私たちはエコアクション21への7年間の取り組みの成果を生かし、今夏の厳しい暑さを乗り切っていきたいと思っています。そして、将来の脱原発または原発縮小に向け私たちができることは何なのかを考え、これからも環境問題に取り組んでいきたいと思っています。

2012年7月
代表取締役社長 松城幹夫

環境方針

当社は、紙袋の製造販売メーカーとして、丈夫で何度でも使用していただける、高品質の商品を製造することに力を入れ約半世紀が経過しました。とは云え、残念ながら紙袋は最終的にはごみになってしまう商品です。そのため、当社は以前から常々環境を意識してまいりました。

当社経営方針の中に、「環境を意識して、地域社会に信頼され、社会に貢献する会社になります」という項目があります。この方針を追求する為、全社一丸となって積極的に、自主的に環境経営システムを構築・運用し、保全活動を追及していきます。当社の事業活動における環境負荷の低減、地域社会および地球環境の改善を行うために行動指針を制定します。

・ 行動指針

1. 地球温暖化防止のための省エネルギー
2. 資源の有効利用
3. 廃棄物の削減
4. 化学物質使用量の削減
5. グリーン購入並びに環境にやさしい商品生産と企画及び販売

以上について、環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

- ・ 環境関連規制及び当社が約束した事柄を順守します。
- ・ 環境への取り組みを環境活動レポートとして公表します。

制定日：2005年10月21日

改定日：2010年6月22日

代表取締役社長 松城 幹夫

□組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
 マツシロ株式会社
 代表取締役社長 松城 幹夫
- (2) 所在地
 本社/工場：大阪府東大阪市角田1丁目10番8号
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
 責任者 製造課工場長：南野 幸伸 TEL：072-962-1431
 担当者 営業事務課主任：瀬尾 薫 TEL：072-962-1431
- (4) 事業内容
 紙袋及び袋物全般の製造・企画・販売
 主要製品：紙・ポリプロピレン完全分別紙袋、ポリプロピレンビニール被せ紙袋、
 レジかご対応バッグ(エコ楽バッグ)、環境対応買い物袋 等
 ホームページ：<http://www.m-elitebag.co.jp>
- (5) 事業の規模
 主要製品生産量 368 トン/年
 従業員 14 名
 本社/工場延べ床面積 3,976 m²
- (6) 事業年度
 6月～5月

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：マツシロ株式会社
 活動：紙袋及び袋物全般の製造・企画・販売

□環境目標とその実績

本社/工場における主要な環境負荷と環境目標及びその実績は次のとおりです。

項目	年度	2008年度	2011年度		2012年度	2013年度
		(基準年)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
電力の省エネ (0.355kg-CO ₂ /kwh)	(kg-CO ₂)	48,762	47,299	44,900	44,861	44,374
自動車燃料の削減	(kg-CO ₂)	18,974	18,405	15,572	15,559	15,369
二酸化炭素排出量合計 (kg-CO ₂)		67,736	65,704	60,472	60,420	59,743
可燃廃棄物の削減	(kg/年)	8,097	7,854	4,592	4,534	4,453
コピー用紙の削減	(kg/年)	479	465	356	354	350
一般廃棄物排出量合計 (kg/年)		8,576	8,319	4,948	4,888	4,803
節水	(m ³ /年)	608	590	374	371	365
環境配慮製品の販売促進	(万円/年)	7,000	7,210	7,256	7,280	7,350

※化学物質使用量の削減は、製品への環境配慮として取り組む

※グリーン購入は、製品への環境配慮及び電力の省エネ、自動車燃料の削減手段として取り組む

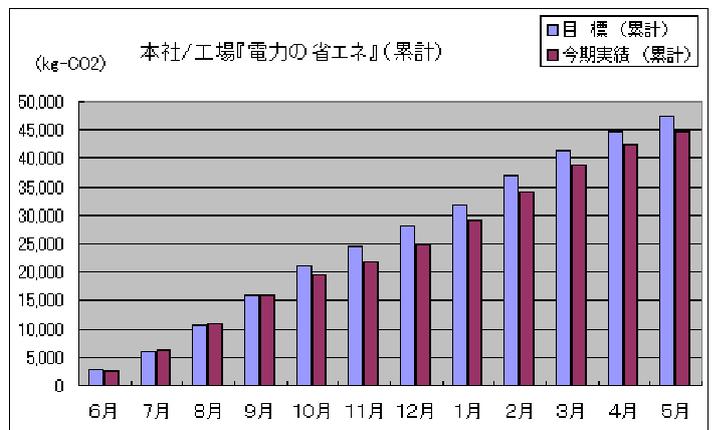
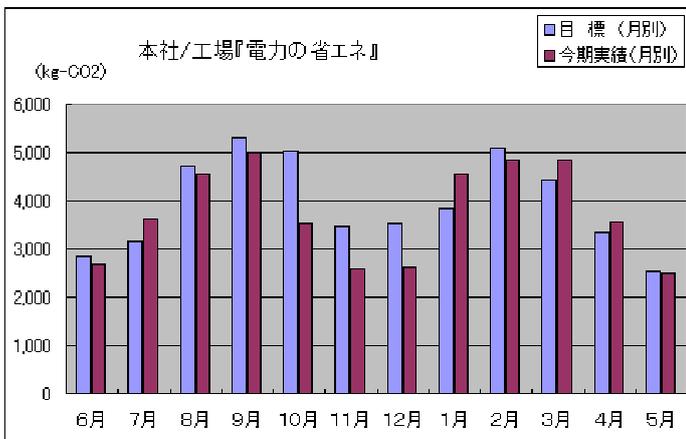
【エコアクション活動板】



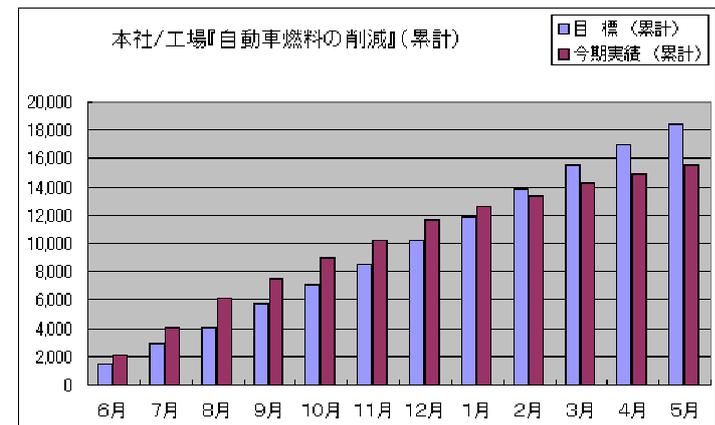
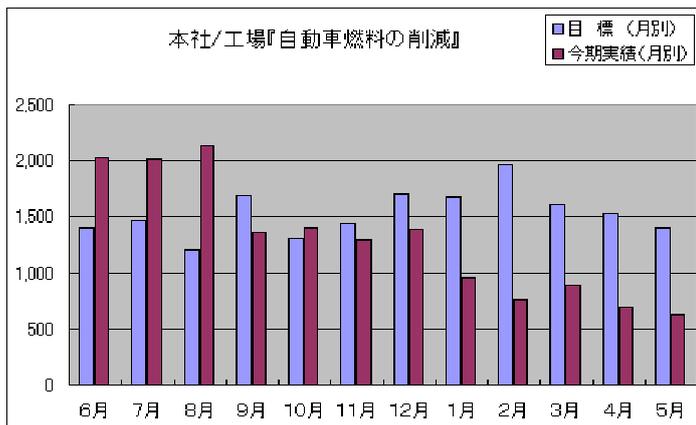
□環境活動の取り組み計画と評価

本社/工場

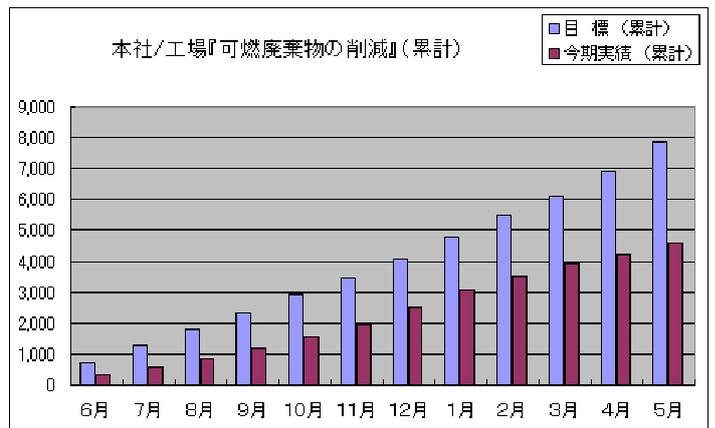
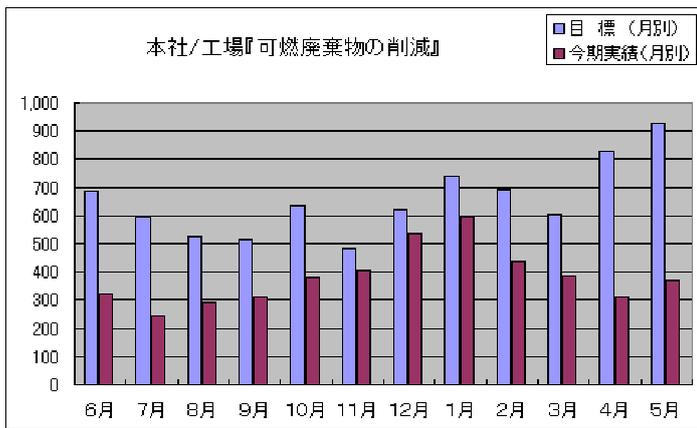
取り組み計画	達成状況	評価（結果と今後の方向）
<p>①電力の省エネ（基準年度比▲3%）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デマンド監視装置導入 ・照明を省エネタイプに更新 ・エアコンを省エネタイプに更新 ・省エネ機器の導入 	<p>基準：48,762kg-CO2 目標：47,299kg-CO2 実績：44,900kg-CO2 達成率：105.3% 基準年度比：92.1% 7.9%（削減）</p>	<p>（目標達成） 設備投資が要る目標達成手段は、直に取り組みが出来そうにないが、更新時に都度採用予定。 6月より是正処置を行い成果が出たが、3月・4月は事業内容の見直しに伴う残業時間の増加が使用量の増加として数字に表れた。しかし、残業が減ると共に電力の使用量も減ってきた。 次年度の目標数値は、今年度の実績に見合った目標数値にする。</p>



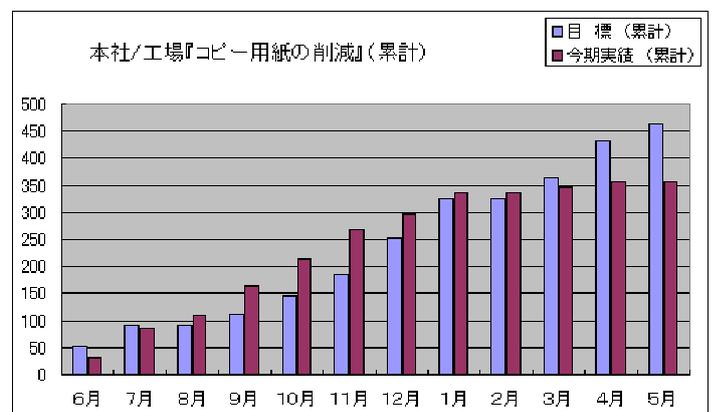
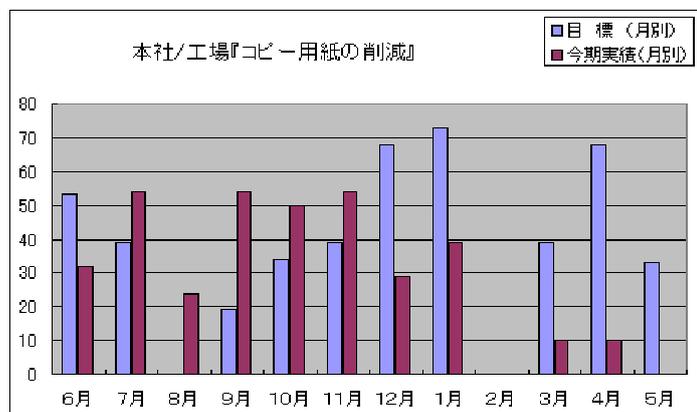
取り組み計画	達成状況	評価（結果と今後の方向）
<p>②自動車燃料の削減（基準年度比▲2%）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・営業ルート効率化 ・カーナビ導入 ・低燃費車に更新 	<p>基準：18,974kg-CO2 目標：18,405kg-CO2 実績：15,572kg-CO2 達成率：118.2% 基準年度比：82.1% 17.9%（削減）</p>	<p>（目標達成） 車の台数を増やさず営業車としても使えるようにダイナからキャラバンへの乗換えをした。 年明けから事業内容を見直し、それに伴い公共機関の使用を推進し、車の使用量が減る事によりガソリンの使用量も減った。 次年度の目標数値は、今年度の実績に見合った目標数値にする。</p>



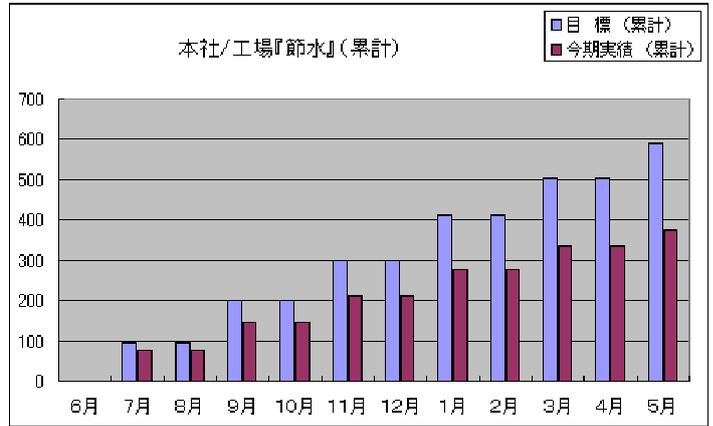
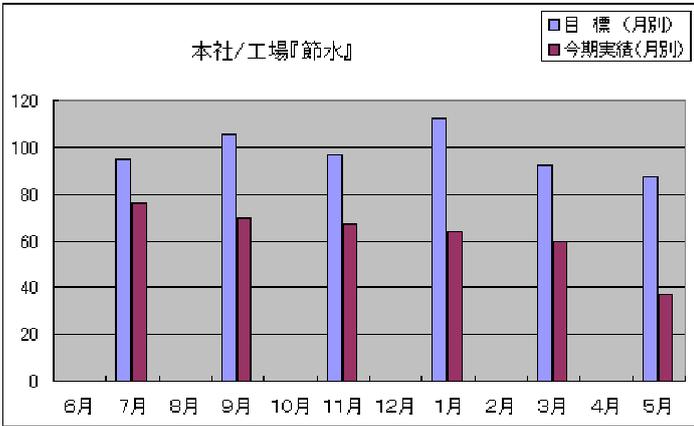
取り組み計画	達成状況	評価（結果と今後の方向）
③可燃廃棄物の削減（基準年度比▲2%） ・ハンカチ、タオル使用によるペーパータオルの廃止 ・リサイクル紙抄造の為の分別	基準：8,097kg 目標：7,854kg 実績：4,592kg 達成率：171.0% 基準年度比：56.7% 43.3%（削減）	（目標達成） 現状、リサイクル紙抄造の為には約半年掛けて白紙を貯めなければならないので現実的ではありませんが、取り組み計画としては残しておきます。 ゴミの分別、製袋ミスの削減、ペーパータオルの廃止などによる、削減意識が定着し目標を達成出来た。 次年度の目標数値は、今年度の実績に見合った目標数値にする。



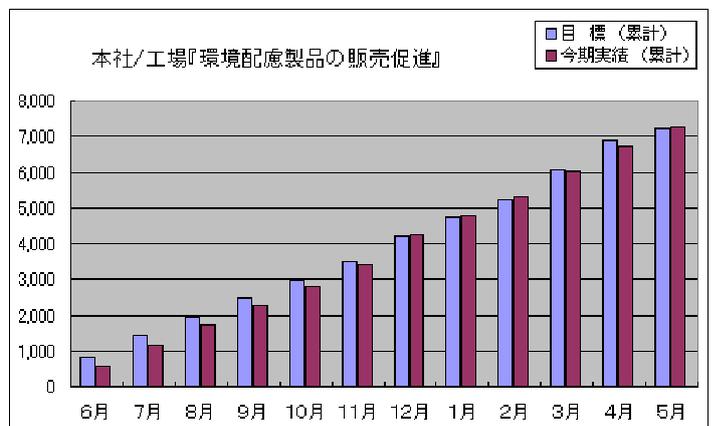
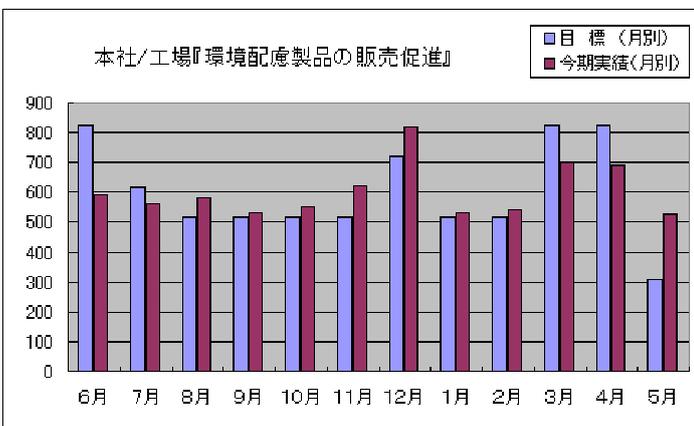
取り組み計画	達成状況	評価（結果と今後の方向）
④コピー用紙の削減（基準年度比▲2%） ・カタログ作成方法の見直し ・PCファックス機能付複合機の導入	基準：479kg 目標：465kg 実績：356kg 達成率：130.6% 基準年度比：74.3% 25.7%（削減）	（目標達成） 年明けから事業内容を見直し、それに伴い販促用の袋物カタログ作成が無くなり使用量の削減となり目標達成となった。 次年度の目標数値は、今年度の実績に見合った目標数値にする。



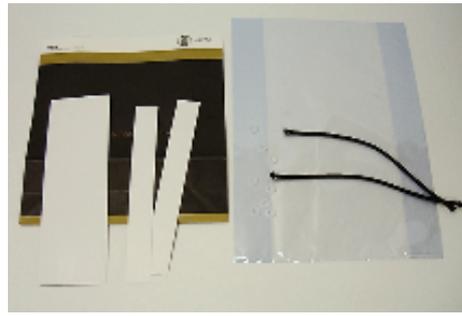
取り組み計画	達成状況	評価（結果と今後の方向）
⑤節水（基準年度比▲2%） ・水を流しながら石鹸での手洗いはしない ・雨水利用による植木の水やり ・節水弁（バルブ）取付け	基準：608 m ³ 目標：590 m ³ 実績：374 m ³ 達成率：157.8% 基準年度比：61.5% 38.5%（削減）	（目標達成） 日々の節水と2月より人員構成の変更により、トイレ・食堂などの水の使用量が減った事で、目標達成となった。 次年度の目標数値は、今年度の実績に見合った目標数値にする。



取り組み計画	達成状況	評価（結果と今後の方向）
⑥環境配慮製品の販売促進 （基準年度比+2%） ・エコマーク取得 ・社内から出たリサイクル紙を使つての紙の抄造 ・化学物質使用量の削減（トルエン、フタル酸ジ-n-ブチルの使用量削減） ・再生紙の使用	基準：7,000 万円 目標：7,210 万円 実績：7,256 万円 達成率：100.6% 基準年度比：103.7% 3.7%（増加）	（目標達成） 去年に引き続き、エコマーク取得に再チャレンジしたが、ボールに関する必要書類が集まらず、認定申込期日が過ぎた為、申込取消となってしまった。 また、リサイクル紙の抄造に関しては、白紙を貯めるのに約半年ほどかかるので現実的ではないが、これから先の取り組み計画としては残しておく。 有害物質を含むボンドの使用を禁止する事により、化学物質使用量の削減が出来た。



【紙とポリプロピレンに完全分別可能商品】



【レジ袋削減バッグ エコ楽バッグ】



レジ袋削減バッグ

● 黒 180×240×100mm
 ● 赤 210×270×100mm
 ● 茶 210×270×100mm

● 黒 180×240×100mm
 ● 赤 210×270×100mm
 ● 茶 210×270×100mm

● 黒 180×240×100mm
 ● 赤 210×270×100mm
 ● 茶 210×270×100mm

ECOPOKE BAG

エコポケバッグ

- 黒 180×240×100mm
- 赤 210×270×100mm
- 茶 210×270×100mm
- 青 210×270×100mm

お買い物場にも、ファッション/ロゴ出しにも使える可愛いエコポケバッグです。

● 黒 180×240×100mm
 ● 赤 210×270×100mm
 ● 茶 210×270×100mm
 ● 青 210×270×100mm

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規	適用される事項	本社/工場
廃棄物処理法	一般廃棄物	○
騒音規制法	製袋機・断裁機	○
容器包装リサイクル法	包装資材商品	○
家電リサイクル法	テレビ・エアコン・冷蔵庫・洗濯機	○廃棄無し
フロン回収・破壊法	業務用エアコン	○廃棄無し

環境関連法規制等の順守状況の定期評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。また、過去3年間にわたって違反や訴訟もありませんでした。

以上

□代表者による全体の評価と見直し

会社方針として、事業を本来当社が得意とする紙袋と環境を考えたエコバッグに特化することにしました。それにともなった人員構成の見直しと無駄な経費の見直しが、結果的にすべての項目で目標達成という形に現れました。

事業の見直しが目標達成の大きな要因ではありますが、7年間継続してきたエコアクション21の活動がそのベースにあることは間違いありません。来年は今年の実績をもとにどれだけ削減を上乘せすることができるのか、今までの活動を通じて実践していきたいと思えます。

□節電活動の紹介

事務所で行っている、夏の電力不足への取り組みをご紹介します。



冷房の温度を、27℃⇒28℃へ
(外気に比べれば十分涼しいです)



日除けの為に、よしずを設置
(直射日光や反射熱を防ぎます)



サーキュレーターで空気を攪拌
(隅々まで冷気が行き渡ります)



こまめなフィルター掃除
(よく冷えるようになります)